

平成25年度

教科・科目名 科学年系コース	古典(講読)普通科2年文系	授業時間数/週	3時間
授業の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって、人生を豊かにする態度を育てる。		
授業内容の方法	教科書・学習課題ノートを使用しながら、学習を進めていく。便覧などを使用し、視覚教材も利用していく。		
評価方法について	試験 80点(講読40点 演習40点) 評点20点(講読20点 演習20点)		
使用テキスト 教科書 副教材	精選 古典 明治書院 精選 古典 学習課題ノート 明治書院 新国語便覧 第一学習社 新国語便覧準拠ノート 第一学習社		
年間授業計画	前期 4月 歴史的仮名遣い確認 4月5月 古文 説話 十訓抄 文字一つ返し 漢文訓読確認 6月 漢文 故事・逸話 漱石枕流 6月7月 古文 随筆 方丈記 ゆく河の流れ 7月9月 古文 随筆 徒然草 城陸奥守泰盛は よき細工は 9月10月 漢文 漢詩 漢詩説明 詩の形式 押印確認	後期 10月 11月 漢文 漢詩 客中行 岳陽楼に登る 12月 古文 和歌 万葉集 1月 古文 和歌 古今和歌集 2月 古文和歌 新古今和歌集 2月3月 漢文 寓話 獸を率ゐて人を食ましむ	

平成25年度 古典 普通科2年 文系 年間学習計画

学期 月 配当時間	単元 項目 学習内容	学習のねらい ポイント	学習活動 (評価方法)
前期 4月 配当時間 4時間	<ul style="list-style-type: none"> ・古典講読 オリエンテーション ・歴史的仮名遣いの復習 ・古文 説話「十訓抄」文字一つ返し 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を学ぶ基本姿勢を身に付けさせる。 ・歴史的仮名遣いの確認をする。 ・人物相互の関係を把握し、興味を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典ノートの取り方について理解する。 ・プリントを使用し、歴史的仮名遣いの復習。 ・歴史的背景、作品、登場人物について知る。 (学習課題ノート) (小テスト) (前期試験)
5月 配当時間 4時間	<ul style="list-style-type: none"> ・古文 説話「十訓抄」文字一つ返し ・漢文 訓読の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要古語、係助詞、助動詞の理解、長文を読み通す力を付けさせる。 ・漢文訓読の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文法(助動詞、係助詞)の意味と用法の理解。 ・プリントを使用し、漢文訓読の復習。 (学習課題ノート) (小テスト) (前期試験)
6月 配当時間 7時間 7月 配当時間 3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文 故事・逸話「漱石枕流」 ・古文 随筆「方丈記」ゆく河の流れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文訓読を理解し、正確に音読させる。基礎的な句法、孫子荆の発言の面白さを理解させる。「漱石枕流」の成語と由来、現代生活の中にも生きていることを知る。 ・日本古典三大随筆であることを理解させる。「人と住まい」を「河の流れと泡」、「朝顔と露」の比喻で説明している関係を理解させる。中世文学の中心思想である「無常観」を読み取らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文を正確に音読し、ルビなしでも、全文訓読の発表。文法(反語形)の意味と用法の理解。 ・随筆、作品、作者、時代背景を知る。対句、倒置、比喻などの語法を確認しながら、内容を読解する。 (学習課題ノート)(小テスト) (前期試験)
7月 配当時間 3時間 9月 配当時間 3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・古文 随筆「徒然草」城陸奥守泰盛は ・古文 随筆「徒然草」よき細工は 	<ul style="list-style-type: none"> ・名人とはどのような人を指すのか、理解させる。使役、推量の助動詞に注意し、読解させる。 ・論理の展開を考えさせる。古人のものの見方や考え方をとらえ、現代の考え方、感じ方と比べ、相違点、共通点を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆、作品、作者、時代背景を知る。助動詞に注意して通釈する。名人の定義を考える。 ・現代語訳し、文章のつながり、展開を考える。作者の考える名人、名人の基準を知る。 (学習課題ノート) (小テスト) (前期試験)
9月 配当時間 2時間 後期 10月 配当時間 1時間	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文 詩 漢詩の特徴 詩の形式 押韻 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の基本的事項を習得させる。中国の詩の特徴、歴史を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古体詩、近体詩、絶句、律詩の特徴、詩の形式、押韻を理解する。 (学習課題ノート) (小テスト) (後期中間試験)
後期 10月 配当時間 6時間 11月 配当時間 2時間	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文 詩「客中行」 漢詩の特徴 詩の形式 押韻 小テスト ・漢文 詩「登岳陽楼」 漢詩の特徴 詩の形式 押韻 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩の訓読に慣れさせる。音読を通して表現の美しさ、簡潔さを理解させる。漢詩の持つ思索性や美意識に注意し、凝縮された表現を深く味わせる。作者李白についてと、絶句の特徴を理解し、正確に音読させる。豪快で、自由な表現を味わう。 ・作者杜甫について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作者、作品について知る。近体詩、絶句の特徴、詩の形式、押韻を理解する。書き下し文を書き、現代語訳する。 (学習課題ノート) (小テスト) (後期中間試験)

11月 配当時間 4時間	•漢文 詩「登岳陽樓」 漢詩の特徴 詩の形式 押韻 小テスト	•律詩の特徴を理解し、正確に音読させる。雄大な表現と社会意識、人間愛を理解させる。国内の戦乱がまだ終わらないことに深い憂いを抱く作者の心情に注目させる。	•作者、作品について知る。近体詩、律詩の特徴、詩の形式、押韻を理解する。書き下し文を書き、現代語訳する。 (学習課題ノート) (小テスト) (後期中間試験)
12月 配当時間 4時間	•古文「万葉集」「古今和歌集」	•三大和歌集を時代に添って見ていくことにより、各時代の和歌文学の特徴や流れを理解させる。 •和歌に対する意識、理解を深め、更には当時の人々の心情や事象の把握の仕方に鑑賞を深める。 •和歌の修辞法について確認し、修辞法の機能、用法、和歌の世界観を味読させる。	•「万葉集」について、概要を学ぶ。詞書、対句、倒置法、枕詞、序詞について学び、大意をつかむ。 •「古今和歌集」について、概要を学ぶ。 (学習課題ノート) (小テスト) (後期試験)
1月 配当時間 6時間	•古文「古今和歌集」「新古今和歌集」	•三大和歌集を時代に添って見ていくことにより、各時代の和歌文学の特徴や流れを理解させる。 •和歌に対する意識、理解を深め、更には当時の人々の心情や事象の把握の仕方に鑑賞を深める。 •和歌の修辞法について確認し、修辞法の機能、用法、和歌の世界観を味読させる。	•「古今和歌集」の係り結び、枕詞、序詞、掛詞、縁語、見立てについて学び、大意をつかむ。 •「新古今和歌集」について、概要を学ぶ。本歌取り、体言止めについて学び、大意をつかむ。 (学習課題ノート) (小テスト) (後期試験)
2月 配当時間 6時間 3月 配当時間 1時間	•漢文 寓話「率獸而食人」	•孟子とその思想を理解させる。 •寓話の面白みを味わせ、寓意を読み取ることで、背景にある思想を理解させる。 •孟子が批判する為政者の在り方を理解させる。 •語法の復習をとして、基本句形を確認し、理解させる。	•作者と思想を知る。音読の際、注意すべき読みを確認する。 •孟子が批判する為政者の在り方、孟子の唱える「民父母」たる政治を考える。 •基本的句形の用法を理解し、現代語訳に生かす。 (学習課題ノート) (小テスト) (後期試験)

平成25年度

教科・科目名 科年組コース	古典(演習) 普通科2年文系	授業時間数/週	2時間
授業の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって、人生を豊かにする態度を育てる。		
授業内容の方法	教科書を使用しながら、学習を進めていく。便覧などを使用し、視覚教材も利用していく。		
評価方法について	試験 80点(講読40点 演習40点) 評点20点(講読10点 演習10点)		
使用テキスト	教科書 新訂版 みるみる実力アップ 古典総合 Stage2 第一学習社 新国語便覧 第一学習社 副教材 新国語便覧準拠ノート 第一学習社		
年間授業計画	<p>前期</p> <p>4月 歴史的仮名遣い確認 友と見る月 品詞分解</p> <p>5月 魚養の事 動詞の確認</p> <p>6月 ささら波 助動詞と活用</p> <p>7月 漢文基礎確認 宋公の戦法</p> <p>9月 つがひ去りにし水鳥</p>	<p>後期</p> <p>10月 不死の薬</p> <p>11月 七歩の詩</p> <p>12月 宣孝の御嶽詣で</p> <p>1月 方丈の庵</p> <p>2月 隣りの火の事</p> <p>3月 助動詞の復習、確認テスト</p>	

平成25年度 古典 普通科2年文系 年間学習計画

学期 月 配当時間	単元 項目 学習内容	学習のねらい ポイント	学習活動 (評価方法)
前期 4月 配当時間 6時間	・古典 オリエンテーション ・歴史的仮名遣い確認 ・古文 友と見る月 品詞分解	・古典を学ぶ基本姿勢を身に付けさせる。 ・歴史的仮名遣いについて理解させる。 ・品詞分解について理解する。	・古典ノートの取り方について理解する。 ・王子猷の言動から、その目的と人物像を読み取る。
5月 配当時間 6時間	・古文 魚養の事 動詞の確認	・古文の言葉遣いや言い回しに慣れ、古文に親しむ態度を養わせる。 ・古語の意味を理解し、話の面白さの要点はどこにあるか考えさせる。	・母が海に投げ入れた子が父と再会できた要因を読み取る。
6月 配当時間 7時間	・古文 ささら波 助動詞の活用	・古文の言葉遣いや言い回しを理解し、読めるようにさせる。 ・古語の意味を理解し、本文だけでなく和歌の面白さを理解する。	・帝の心を動かした歌の内容を正確に押さえる。
7月 配当時間 6時間	・漢文基礎確認 ・漢文 宋公の戦法	・まとまった文章を読む力を養い、訓読法に習熟させる。 ・漢文の簡潔な表現の中に、深い含意がかくされていることを理解させる。	・「不可なり」と繰り返す、宋公の思いを読み取る。 (前期試験・4～7月分)
9月 配当時間 6時間	・古文 つがひ去りにし水鳥	・登場人物の人間関係を整理し、それぞれ人物の置かれた立場や状況を理解させる。 ・『源氏物語』という日本を代表する物語文学に触れ、その文章を読み味わい、古典への親しみを深める。	・仏道修行を姫君の愛育に日々を送る、八の宮の心情を読み取る。
後期 10月 配当時間 7時間	・漢文 不死の薬	・まとまった文章を読む力を養い、訓読法に習熟させる。 ・漢文の簡潔な表現の中に、深い含意がかくされていることを理解させる。	・不死の薬をまんまと飲んでしまった中射の士の言い分を押さえる。
11月 配当時間 7時間	・漢文 七歩の詩	・まとまった文章を読む力を養い、訓読法に習熟させる。 ・漢文の簡潔な表現の中に、深い含意がかくされていることを理解させる。	・詩に託された作者の思いを読み取る。 (後期 中間試験・9～11月分)
12月 配当時間 7時間	・古文 宣孝の御嶽詣で	・筆者の「あわれなるもの」の考え方を理解させる。 ・「枕草子」特有のリズムを、音読を通して味わう。	・宣孝の言動に注意して、人物像を読み取る。
1月 配当時間 6時間	・古文 方丈の庵	・作者の住居に対する考え方を理解させる。 ・「方丈記」という書名が生まれた経緯を理解し、有名古典に対する知識、理解を深める。	・住居の変転とともに変わっていく作者の心境を読み取る。
2月 配当時間 6時間	・古文 隣の火の事	・平安時代の恋愛事情を理解し、現代との共通点や違いを知り、古典への親しみを深める。	・火事だどわかってから家に帰り着くまでの作者の心情を読み取る。
3月 配当時間 6時間	・助動詞の復習、確認テスト	・年間を通して学習した古文の助動詞について、復習・確認し、学力の定着を図る。	・年間を通して学習した古文の助動詞について、テストを行い解説する。 (後期期末試験・12～3月分)